

いまにし たかひろ  
2年 | 今西 隆博 さん [ 兵庫県立香住高等学校 出身 ]



鳥取のお気に入り

鳥大キャンパスも鳥取砂丘!?

山陰海岸ジオパークの一つである「鳥取砂丘」は、辺り一面サンドベージュでまるで別世界！一見の価値あります。実は鳥大周辺も鳥取砂丘の一部なんだとか。「湖山砂丘」というそうです。

## オープンキャンパスで学科の魅力を実感

僕の故郷・香住は山陰海岸ジオパークの一角で、日本海の海岸線に貴重な地質や地形が数多く見られる地域です。地元が大好きで山陰海岸ジオパークの研究がしたいという希望を胸に、高3の8月にはオープンキャンパスに参加。地域学部を訪れたとき、思いがけず学科の先生とお会いする機会が得られ、大学での勉強や研究室のことなどを1時間ほどマンツーマンで伺うことができました。「鳥大に行きたい」という気持ちがより強くなりました。入学志願票は卒業生のものを参考に細かく記入。面接練習は「先生全員を制覇するぞ」の勢いで。先生ごとに質問の仕方が違うので、臨機応変な対応ができるようになりますよ。

## 環境の基礎知識を広くストックしよう

小論文の課題文には英文の資料が出されますが、環境に関する英文問題を英語の先生に作ってもらい練習していたことが功を奏しました。課題作業は地球環境に関しての出題。文章を読んで表の数値を算出し、それを基にグラフを作成、自分の意見をまとめるという作業でしたが、90分では時間が足りないくらいのボリュームに焦りました。怖くて後半は手が震えるほど。でも、冷静に考えれば分かる問題。最後の面接でも課題を理解しているかどうかを真っ先に問われ、読解力、思考力、応用力が問われているのだと感じました。小論文も課題作業も環境に関する専門用語が結構出てくるので、新聞や関連書籍を読んで基礎知識を蓄えておくことは必須です！

## アドミッション・ポリシー

### AO入試で求める人物像

募集人員(予定)：5人

【趣旨】地域環境(自然・歴史・資源・エネルギー・ライフスタイル)をトータルに学習し、調査・研究の実践力を身につけ、地域の環境づくりに貢献できる人材を育成します。地域環境学の課題解決に向けて、とくに意欲と実行力をもつ人を様々な観点から総合的に評価するAO入試を実施します。

知的好奇心、行動力、ならびに思考の柔軟性に富み、かつ基礎的な英語力を備え、次のいずれかに該当する人を求めます。

- 地域固有の自然(地形・地質・動植物)の成り立ちや、そこに暮らした人々が歴史的に築きあげた智慧などに強い興味のある人
- エネルギー・資源の有効活用や新技術の開発、あるいは環境と人間の健康との相互作用などに強い興味のある人

## 平成25年度AO入試第2次選考<選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成25年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。平成26年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。なお、AO入試の過去問題は、平日9:00~17:00に入試課(鳥取キャンパス)で閲覧できます。

### 全体を通して求める力

自然現象や社会的現象などに対する科学的な視点や考え方、課題文や図表資料を読み解く読解力、面接での質問を聞き取る理解力、自分の考えを伝えるために必要となる論理的思考力、自己表現力、文章構成力、作図能力を求めます。

### 小論文、課題作業

小論文は再生資源の越境移動に関する和文資料と英文資料を読み、英文の和文要約や、これら2つの資料を参考にして有害廃棄物を含む再生資源の国境を越えた移動が、環境汚染を引き起こさないようにするために必要な方策を論述解答する内容でした。課題作業では、2つの大問を設けました。ひとつは1960年~2010年における日本国内の木材需要量を用途別に示したデータからグラフを作成し、読み取れることを論述解答するものでした。もうひとつは、標高点や土地利用の地図記号などをちりばめた地図を提示し、等高線や地形断面図を描かせる内容でした。

小論文と課題作業では、文章読解力、文章作成力、論理的思考力、グラフによる表現力、空間認識能力、環境問題への関心の度合いなどを評価しました。

### 個人面接

20分程度で行い、本学科の志望理由や学習意欲、自己表現力、論理的思考力を評価しました。提出書類、小論文や課題作業などに関連した内容も質問しました。

### 高校時代に履修が望ましい教科、領域

理数系の教科(数学、物理、化学、生物、地学)に強い興味を有し、英語での理解ができること、野外での自然観察や科学的な実験・体験学習に強い興味・関心を持っていたり、積極的に参加していたりすることを望みます。